

# 令和2年度事業報告

令和2年度の事業は、公益財団法人小野寺パラスポーツ振興会定款第4条に基づき、「フットサル等スポーツ活動の普及事業」及び「フットサル等スポーツ活動の調査・研究」は、計画通りに実施しましたが、新型コロナウイルス感染所の拡大により「フットサル等競技会等の開催・助成」の実施はやむなく中止せざるを得ませんでした。

## 1 定款第4条1のフットサル等スポーツ活動の普及

### 1-1 スポーツ用品の寄贈

本事業は、図1のフットサルボール及び簡易室内ゴール、ボッチャ用具、ティーボール用具、フロアカーリング用サポートスティック、柔軟性コーナーポスト、水泳用フロートクッションを9カテゴリーに分けて、それぞれ希望する26校に第1次として送付しました。第一次寄贈部は以下の通りです。

	担当者	希望SET	3号球		4号球		ゴール		ボッチャ		ティーボール関係		ティーボール関係		コーナーポスト2		送料	合計(税込)
			数量	¥3,190	数量	¥2,420	数量	¥8,910	数量	¥22,000	数量	¥20,240	数量	¥935	数量	¥9,900		
手稲養護学校	石塚 明博	F/2									2	¥40,480	2	¥1,870			¥3,600	¥45,950
紋別高等養護学校	永易 健太	E							1	¥22,000							¥1,800	¥23,800
鷹栖養護学校	橋本 富美子	F									1	¥20,240	1	¥935			¥1,800	¥22,975
札幌養護学校	柏葉 由美子	D/2				4	¥35,640										¥13,000	¥48,640
伊達高等養護学校	高木 勇輝	H												2	¥19,800		¥3,800	¥23,600
夕張高等養護学校	北野 蒼	E							1	¥22,000							¥1,800	¥23,800
函館養護学校	木下 裕子	F									1	¥20,240	1	¥935			¥1,800	¥22,975
中札内高等養護学校	濱谷 良介	B			2	¥4,840	1	¥8,910									¥4,900	¥18,650
平取養護学校-宮小牧校開校準備室	渡部 一也	C	1	¥3,190	1	¥2,420	1	¥8,910									¥4,900	¥19,420
平取養護学校	沖津 聡子	E							1	¥22,000							¥1,800	¥23,800
釧路養護学校	草野 剛	F/2									2	¥40,480	2	¥1,870			¥3,600	¥45,950
札幌あいの里高等支援学校	梅田 千尋	E							1	¥22,000							¥1,800	¥23,800
新篠津高等養護学校	松山 佳樹	E							1	¥22,000							¥1,800	¥23,800
美深高等養護学校	黒濱 雄飛	E							1	¥22,000							¥1,800	¥23,800
今金高等養護学校	海田 健	B			2	¥4,840	1	¥8,910									¥4,900	¥18,650
札幌高等養護学校	永井 准	E							1	¥22,000							¥1,800	¥23,800
室蘭養護学校	宮丸 百合	E							1	¥22,000							¥1,800	¥23,800
網走養護学校	上村 善明	E/1、F/1							1	¥22,000	1	¥20,240	1	¥935			¥3,600	¥46,775
星置養護学校	柏 敬子	E/2							2	¥44,000							¥3,600	¥47,600
北斗高等支援学校	戸倉 広晶	E							1	¥22,000							¥1,800	¥23,800
旭川聾学校	外山 昇	F									1	¥20,240	1	¥935			¥1,800	¥22,975
			1	¥3,190	5	¥12,100	7	¥62,370	12	¥264,000	8	¥161,920	8	¥7,480	2	¥19,800	¥67,500	¥598,360

その後、北海道今金高等養護学校校長から理事長あてに特別のスポーツ教材の寄贈依頼がきて、ボッチャ用具と得点版、コートブラシを特別寄贈しました。総計は、693,496円です。

### 1-2 フットサル指導員の派遣

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、各校からの依頼は少なく、かつ直前でのキャンセルなどあったことから、北海道北斗高等支援学校と北海道今金高等養護学校への派遣にとどまりました。総計は、109,468円です。

派遣報告書は、次の通りです。

#### 北海道特別支援学校へのフットサル巡回指導活動報告

- 報告者 吉田 順省
- 実施校 北海道北斗高等支援学校
- 当該校担当教諭 戸倉 広晶 教諭
- 実施日 令和2年12月15日(火)
- 実施日程
  - ① 10:50 ~ 12:40 1.2年生(生徒数22名) 合同体育授業
  - ② 13:25 ~ 15:15 3年生(生徒数17名) 体育授業
  - ③ 15:45 ~ 16:45 北斗・上磯高校合同部活動(計18名)

#### ○実施概要

##### ① 1.2年生体育授業

初めにウォーミングアップとして一人ひとりがボールに触れてもらえるようなドリブル中心のメニューを行いました。



した。フットサルというスポーツを通じて、楽しみながら何事も取り組むこと、協力することや応援することの大切さや仲間の大事さ等を伝えさせて頂きました。初めてお会いした生徒さんでしたが皆さん、とても明るく積極的に授業を受けて頂き、笑顔溢れる楽しい授業になりました。

## ② スポーツ部活動

私が2年前に巡回指導でやったことを皆さん覚えて頂いている生徒さんも多く、最初からとても明るい雰囲気の中、部活指導を行うことが出来ました。内容としましてはフットサルの専門的な要素を取り入れたシュートやパスのメニューを実施しました。理解するまでに時間はかかりましたが、先生の皆様にもご協力頂き、最後には狙い通りのプレーが出来ていました。最後には試合形式で生徒同士、教諭チームと対決をしました。4月から社会人になり、フットサルというスポーツを余暇の一環として行い、健康で楽しい生活を過ごして頂けたらと伝えさせて頂きました。



## ○総括

新型コロナウイルスの影響で学校行事がほぼ中止になり、生徒の皆さんは学校生活での楽しみがなくなっている状態であるようです。今回もそのような声が上がっておりました。前回同様、楽しい時間の提供も大切だと強く感じ、フットサルというスポーツを通じ学校では教わることの出来ない人との関わり、優しさや思いやり、楽しむことや笑顔の大切さなど、たくさんのことを伝えることが出来ると信じています。最大限の感染対策をし、出来る限りこの活動を行い、少しでも生徒の皆さん、学校様のお役に立てることが出来たらと考えております。今は我慢のとき。ここを乗り越えられると人としても成長出来ると信じ、楽しい時間とたくさんの笑顔が溢れる活動を行い、インクルーシブ社会の実現を目指す為に努力致します。

## 2 定款第4条2のフットサル等競技会の開催・助成

### 1-1 「2020 第4回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会」の開催

「2020第4回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会」は、7月31日(金)、道立野幌総合運動公園体育館で開催するよう、江別市教育委員会及びエスポラーダ北海道、札幌北の杜ライオンズクラブ等と連携して進めてきました。参加学校も台湾から台北市立特別学校(知的障がい)及び台北市立啓聴学校(聴覚障がい)をはじめ道内30校が予定していました。しかし、新型コロナウイルス感染症による学校閉鎖などにより大会開催を中止しました。なお、前泊及び後泊に係る宿舎の予約も進めてきましたが、これによる解約の支払いは発生しませんでした。

## 3 定款第4条3のフットサル等スポーツ活動の調査・研究

### 3-1 スポーツ活動に係る実践研究校の指定

令和元年度は、次表の6校の研究テーマに基づく実践研究に対して、1校10万円の研究助成を行いました。各実践研究指定校から提出された研究論文は編纂整理し、スポーツ研究成果報告書2020(No.4)として北海道小樽高等支援学校で400部印刷しました。この研究助成費5校と印刷に係るインク及び幼児代金の総計は、599,999円でした。

学校名	担当者	研究テーマ
紋別高等養護学校	永易健太	男子新体操～創部3年目の成果と課題～
真駒内養護学校	渡邊憲幸	肢体不自由特別支援学校間における遠隔会議システムを活用したスポーツ交流(2)
新篠津高等養護学校	松山佳樹	全国大会を経験した生徒達のサッカーや学校生活における変容
今金高等養護学校	海田 健	様々なスポーツを通して各競技のスキル向上を図り、実生活にもつながるルールやマナーの遵守の定着に関する研究
八雲養護学校10月移転(手稲養護学校三角山分校)	神原幸男	八雲養護学校における体育の取り組み～できる楽しさから、生きる力へ～

特別支援学校

スポーツ研究成果報告書2020 (No.4)



スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。～「スポーツ基本法」より～

巻 頭 言



新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年、2月開催予定の2020年第7回スペシャルオリンピック日本冬季ナショナルゲーム・北海道大会は中止され、その後、8月に開催を予定していた当

法人主催の第4回小野寺眞悟杯北海道特別支援学校フットサル大会も中止に至るなど、特に特別支援学校の生徒に係るスポーツ競技会が中止に追い込まれた未曾有の年となりました。

本研究報告書に掲載された各論文は、このような中において、令和2年度当初の学校閉鎖期間を乗り越え、制限された時間と空間の中で、各特別支援学校の児童生徒の障がいの状況等に配慮し、工夫された指導実践が整理・検討・考察された内容となっております。

ご執筆された指導実践研究の皆様には敬意を表しますとともに、深甚なる感謝を申し上げます。

さて、スポーツ基本法は、「スポーツは、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである。」と述べています。

公益財団法人小野寺眞悟スポーツ振興会は、今後も、北海道等の特別支援学校に学ぶ生徒が、各学校、各教師等の皆様方の工夫されたスポーツ指導の実践により、より一層、インクルーシブ社会を目指す当事者としての豊かな心と強い体を持った人間形成が可能になるよう支援してまいりますので、ここに関係する皆様方からの忌憚のないご意見ご指導などお願いする次第です。

2021年令和3年3月

公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会  
理事長 小野寺 眞 悟

4 管理費

管理費総計は、1,535,372円です。特に、理事会及び評議員会は、決議省略による手続きを経たことから役員報酬は0円となっております。なお、事務局長の給与手当は、令和2年9月から10万円に引き上げられたことから、95万円が支給されています。

区 分	令和2年度支出	令和元年度支出
役員報酬	0	11,137
給与手当	950,000	600,000
旅費交通費	9,590	125,300
委託費	208,000	86,400
租税公課	2,134	0
食糧費	0	0
支払手数料	141,008	122,100
通信費	38,460	62,553
消耗品費	186,180	39,250